

宇野哲人 とよの 支那哲學者、文學博士。明治八年十一月十五日熊本縣
生れ、昭和四十九年二月十九日歿（八七—一九七）。字子明。號澄江。

明治二十二年東京帝國大學文科大學漢學科卒。大正八年河大教授。そ
の後東京文理科大学教授、昭和十四年北京大學名譽教授、二十年東方
文化學院院長、二十四年實踐女子大學學長、四十年東方學會會長等歴
任。

著書に『支那文明記』（明治四十五年一月十四日大同館）、『二程子
之哲學』（大正九年十一月十日大同館書店）、『文科學術講演集・第

一輯』（内題「懷德堂文科學術講演集・第一輯」合著・懷德堂編、大

正十四年六月十八日弘道館）、『韓非子鈔』（補註、昭和五年七月）

十四日東京開成館）、『漢籍を觀る思想を觀る』（徳富浩一郎合著、昭和五年七

月二十日大東出版社）『漢籍と語の叢書』（、『新支那の指導精神』（昭

和十四年四月五日啓明會事務所）『講演集』（等。また、『宇野先生記

念會誌』（昭和十一年六月二十日宇野先生記念會）、『宇野哲人先生

追憶録』（昭和四十九年八月十日序、斯文会編輯）がある。